

土門拳記念館 展示情報

2018年3月3日(土)～4月15日(日)

休館日：月曜日 ※3月まで。祝日の場合は開館し翌火曜休館

主要展示室

歳時記 ～カレンダーによせて～ カラー・モノクロ 61点

当館では2004年より土門拳オリジナルカレンダーを制作しています。「室生寺」「京」「風景」など、毎年テーマを変えてセレクトされた作品は2018年版までで延べ119点。季節感や土門作品の重厚さを大きなサイズで楽しめると、全国の愛好家に親しまれています。

今回の展示ではこれまでにカレンダーに使用されたうち初期の作品を中心に「古寺巡礼」や「風景」など61点を展示します。日本ならではの歳時記を土門の作品でお楽しみください。

企画展示室Ⅰ

ぼくと酒田

モノクロ 47点

6歳のときに酒田を離れ、長く故郷を訪れたことはなかった土門。昭和32年、雑誌「婦人画報」の取材で41年ぶりに酒田の地を踏むこととなった土門は幼い頃の自分を覚えていてくれた確かな「ふるさと」との再会を経て「酒田山王祭り」、そして「酒田点描」としてそこに暮らす人々の姿をフィルムにおさめました。土門の眼に映った故郷・酒田の風景をお楽しみいただけます。

企画展示室Ⅱ

第24回酒田市土門拳文化賞受賞作品展

石津武史「『俺は負けない！』^{つい すみか}終の住処で…」

モノクロ 30点

昭和を代表する写真家である土門拳は、戦前・戦後を通じ、この国の写真界に多大な功績を残しました。酒田市では、1994年の土門拳記念館開館10周年を機に、写真文化、写真芸術の振興および奨励に寄与することを目的として、この文化賞を創設しました。今回の公募には全国の131人から146テーマの作品が寄せられました。第24回の受賞作品には、大阪・釜ヶ崎で、厳しい過去を背負いながらも前向きに生きる人々をとらえたポートレート、石津武史氏の『「俺は負けない！」終の住処で…」』が選ばれました。また、奨励賞は以下の3名(受付順)です。

平野君子『命のうた 響き合うリズム』(カラー30枚組)

上原ゆうこ『^{もりびと}里山の守人たち』(カラー30枚組)

清水匡『Children at Risk』(カラー30枚組)

土門拳記念館

〒998-0055 山形県酒田市飯森山二丁目13番地(飯森山公園内)

TEL/FAX: 0234-31-0028 <http://www.domonken-kinenkan.jp/>